

## 葛城中学校地区区民対話会議事要旨

日 時 令和4年1月16日（日）午前10時00分～午前11時30分

場 所 中央区役所（きぼ一る11階） 大会議室

参加者

〔葛城中学校区〕第3地区町内自治会連絡協議会の構成員等 20名

〔危機管理課緊急対策室〕：小林室長

〔事務局〕藤代区長

後藤副区長

くらし安心室：岡田室長

地域づくり支援室：石井室長、平岡主査、石田主任技師

### 1 開 会

### 2 区長 挨拶

### 3 第三地区連協坂田会長 挨拶

### 4 講演及び意見交換等

#### （1）講演

・「感染症対策を踏まえた防災対策について」

（危機管理課 緊急対策室 小林室長）

#### （2）意見交換

区 長 初めに講演内容も含めた防災関係、その後に地域づくり、まちづくりについて皆さんからの意見を伺いたい。

本町一丁目町内会 防災だけの話ではないかもしれないが、町内にマンションが4棟建築中であり内2棟がほぼ完成している。自治会への加入をお願いするつもりだが、全世帯未加入となった場合、加入者と未加入者の割合が町内で1対4にもなってしまう。また中央区全体で考えた場合は1対10にもなり得るのではないかと懸念している。そんな状況で避難所運営委員会を考えた場合、メンバーの新陳代謝が行われずスタッフの高齢化や人数不足が考えられる。この問題については町会と行政が協力しながら対応するべきではないか。

区 長 中央区は全般的に若い世代を中心とした新しい層の人口が増加しており、また未加入者が増えていることはデータとしても明らかである。マンション・アパート建設時には自治会へ加入をするよう働きかけを行っているが、即効性のある手段はまだない。我々としても行政から何かを伝えたいとき等に未加入者が問題となることを懸念している。今後、地域の中の未加入者数を中央区として把握するような仕組みも検討しながら、皆さんと協力し対応していきたい。

危機管理課 避難所運営を行う自主防災組織も減少傾向になっている。こちらでも具体的な対策はないため、なにかご意見あれば伺いたい。

葛城町内会 私の町会も加入者が800人ほどだが、市の統計などを見ると1500～1600人は居住していると思われる。学生の増加もあり加入率が下がっている。ゴミステーションの問題もあり、管理会社や不動産業者へ世帯名簿の提出や自治会加入などを頼んでも協力が得られない。このような状況ではいざ災害時になったとき、未加入者の避難や支援に協力できないと言う話もでてきてしまう。

- 区 長 個人的な見解だが、マンション等の未加入者は災害時にフリーライド、負担をしないでただ乗りするような人間が多くなることがある。不動産会社へは大規模マンション建設時に管理組合をみなし自治会として自治会への加入を促す等しながら、それとは別の災害時等に協力できる仕組みを作る働きかけを行政としてしっかりやっていく。
- くらし安心室 今すぐに具体策はないが、市内6区で対応策があれば情報提供を行っていく。その他、避難所運営委員会について疑問点があればくらし安心室までご連絡いただきたい。
- 本町一丁目町内会 私の町内で協議しているが、マンション居住者の加入を促すため管理組合として入会すれば町内会費を低くすることを検討している。また、マンション等には建物の掲示板を活用し回覧物を1枚だけ配るなども考えている。どれくらいの認知度があるかはわからないが回覧物についても町内会でダイジェスト版をつくり見てもらえるように工夫している。町内会もだが行政も一歩進むためには勉強会などを開催するなどして、受け身の姿勢になってはいけない。
- 区 長 ご意見のとおり受け身になってはいけないと思っている。大規模なマンション開発等にはこちらからも出向くなど働きかけを行っている。自治会への加入率をあげることは市全体としてもテーマとなっている。なにかあれば地域づくり支援室までご連絡いただきたい。
- 葛城町内会 集合住宅だけで自治会を結成すると町内が島だらけの様な状況になってしまう。町内会としては防犯灯の電気料金やゴミステーションの管理の問題等が懸念される。もっと行政から町内会加入のメリットを伝えるノウハウを知る機会を作ってもらいたい。
- 区 長 今のご意見は中央区全体のテーマだと思っている。取組みとして良いものがあれば横展開し試して行って、島のような状態であっても防災面などで協力していく仕組みも大事だと考えている。
- 本町三丁目親栄会 風水害の際の避難所開設の連絡がどのように行われるか確認したい。
- 危機管理課 2年前の風水害発生時の連絡不備の反省から、昨年度より避難所運営委員会とメーリングリストを事前に作成し、個人メールへ各避難所の開設予定を送付することを始めている。風水害は地震と違って全ての避難所を開設するわけではないので今後はこちらのリストを活用したい。
- 本町三丁目親栄会 各避難所運営委員会への連絡は委員長だけに届くのか。ひとりだけではなく複数人に送付したほうが良いのではないのか。また連絡網の様にシステム化しているか確認したい。
- 危機管理課 メーリングリストの登録は複数人をお願いしている。こちらから送付したメールを避難所運営委員会の何名まで情報共有するかや連絡網の作成は各委員会へお願いしている。
- くらし安心室 今年度の大雨があった際は、避難所運営委員会へ区役所から開設予定の連絡をいれた。市の安心・安全メールを登録いただくと、土砂災害警戒地域へも連絡が入るようになっている。風水害は被害想定が難しく、避難所の開設の連絡時期をはっきり決めるのは困難だが、今後とも開設時は区役所より連絡させていただく。
- 区 長 防災関係については以上としたい。その他まちづくり等についてもご意見を伺いたい。
- 道場南第三協和会 道場南は住宅地として発展したが、道路の整備状況は他区より遅れていると感じている。町内にある住宅開発地は6mの幅がある道路があり、町内が行った通行量調査では、住民以外の通り抜けも行われている。そこで私道の寄付を土木事務所に申し出たが、技術的な問題から移管できないと言われた。いろいろな問題があることも理解するが、実際に市道のように使われていること踏まえ、市には市民に喜ばれるような判断を望んでいる。
- 区 長 寄付要望があったことは承知している。行政としては制度に則って判断しているため、

お受けできない部分もある。ただしどうやってお住まいの方の利便性を確保していくかということであれば、今回のような場合は私道助成補助などがあり我々ができる次善策を示したい。今後も狭隘道路や住宅密集地を念頭に置きながら取り組みをすすめたい。

道場南第二協和会

京葉線で新駅が建設されると聞いた。それができるならば京葉線の分岐部分を移動し本千葉駅へJR線、京成線、モノレールを集約できないだろうか。第3地区連協地域としては地域住民の利便性が向上する良い話だと思うが。

区 長

民間企業、特にJRは収益性を大変気にしている。京葉線の新駅については千葉市都市計画のみならず地元企業等協力があつて決定された。過去には本千葉、蘇我間の新駅建設の計画もあつたが実現していない。ただし実現すれば地域にインパクトを与える話だと思う。こちらは地域の声として所管課へ情報共有をさせていただく。

葛城町内会

避難所運営委員会として質問だが、市から避難所の収容人数は1,000人と聞いているが、感染症対策等を勘案した場合、生活拠点としての収容人数は50人程度しか対応できないのではないかと。

また学校施設の使用に関して行政としても教育委員会と調整し学校ごとに調整することが無いようにしてもらいたい。さらにマンホールトイレについては、設置はされたが、その後使用説明もない。

危機管理課

収容人数は面積から算出した仮想人数となっている。問題解決のため、一か所に人が集まらないように分散避難を周知していく。学校施設については我々と教育委員会を通じてすでに学校側へ施設利用の話をしている。何かあれば防災対策課もしくはくらし安心室へ連絡願いたい。マンホールトイレについては個別に連絡ができていなかったということであれば申し訳ないところであるが、使用方法についてはホームページ等で公開している。

くらし安心室

マンホールトイレについては今年度2件依頼があり避難所開設訓練時に市職員と一緒に使用訓練を行っている。事前に相談いただければ市職員が指導に伺うこともできる。

葛城町内会

避難訓練についてだが、現状、避難所運営委員会、施設管理者、市職員の三者揃った合同訓練が出来ていないのではないかと。何か理由があるのかまた合同で行う計画はあるのか。

危機管理課

葛城中学校区の状況は把握していないが、各避難所については例年1回、9月1日の防災日に合わせ九都区市合同防災訓練時に3者合同で訓練を行うように調整している。

葛城町内会

私は合同訓練ではなく別々の訓練に感じているが。

くらし安心室

必要であれば、次の訓練時にくらし安心室で合同で行える様に協力させていただく。

亥鼻町大学前自治会

今の話にも関してだが、避難所運営委員会の会議の場に施設管理者も行政側の市職員も参加していない。訓練時だけでなく会議にも参加すべきではないかと。

区 長

市として何もしていないとイメージを持たれることには忸怩たる思いがある。区役所の役割は地域住民の近くにあることだと考えている。新型コロナウイルスの関係から今年度は直接伺うことを控えていたが、状況をみながら改善に取り組んでいきたい。

本町三丁目親栄会

今までの話を聞いて各避難所運営委員会でも問題に違いがあると感じた。我々の避難所運営委員会は学校施設管理者と頻りに打合せしており、校内のどこまで使用するかの協議ができています。マンホールトイレも九都区市合同防災訓練時に使用テストを行っており問題なく使用できる。現在困っているのは会議室の問題で、以前は50名が集まって会議が容易にできたが今は部屋の人数制限もありうまくできていない。

区 長

まだお話を伺いたいところだが、お時間となった。今回は防災と言う部分にクローズアップしたが、感染症対策や避難所の運営など区のまちづくりにいろいろご意見をいただ

いた。今日のお話を踏まえ、まちづくりに反映させて、区としての役割にしっかりと取り組んでいきたい。

以上

## 会議資料

- (1) 次第
- (2) 講演資料「感染症対策を踏まえた防災対策について」(危機管理課)

## 会議写真

